

東京2020に向けたアスリート・観客の暑さ対策に係る  
関係省庁等連絡会議(第1回)

議事概要

1. 日時：平成27年5月22日(金) 8:30~9:30
2. 場所：中央合同庁舎4号館 1214特別会議室
3. 出席者：

<国>

- 平田 竹男 内閣官房2020年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室長(座長)  
高原 剛 内閣官房2020年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室室長代理  
松本 英三 内閣府内閣官房審議官(科学技術・イノベーション担当)  
北崎 秀一 消防庁審議官  
森 晃憲 文部科学省大臣官房審議官(研究開発局担当)  
白間 竜一郎 文部科学省スポーツ・青少年局スポーツ・青少年総括官  
正林 督章 厚生労働省健康局がん対策・健康増進課長 ※代理出席  
宮本 昭彦 経済産業省商務情報政策局情報政策課長 ※代理出席  
佐南谷 英龍 国土交通省官房審議官(道路局担当)  
鈴木 昭久 気象庁総務部長  
近藤 智洋 環境省大臣水・大気環境局総務課長 ※代理出席  
菊池 英弘 環境省総合環境政策局環境保健部企画課長 ※代理出席

<東京都>

- 小川 謙司 東京都環境局都市エネルギー推進担当部長 ※代理出席  
花井 徹夫 東京都オリンピック・パラリンピック準備局施設輸送担当部長

<組織委員会>

- 村里 敏彰 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会  
国際渉外・スポーツ局長  
鈴木 誠司 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会  
大会準備運営局大会計画部長 ※代理出席  
福島 七郎 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会  
会場整備局長  
廣瀬 隆正 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会  
施設整備調整局長

4. 議事要旨

- ・冒頭、平田内閣官房2020年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室長より挨拶。

**【平田室長】**

東京大会は7月24日から8月9日、8月25日から9月6日と大変暑い中開催され、また、アスリートだけでなく多くの外国人観光客、関係者が訪れる予定。その中には、暑さに不慣れな方もいる。また、ハンデをお持ちの方で情報伝達等に支障のある方もいる。そ

のため、関係省庁や東京都、組織委員会が協力し、競技会場やその周辺のみならず、暑さ関連の対策をパッケージとしてとりまとめ、早期に準備体制を確立することを目指し会議を開催した。アスリート・観光客・関係者が素晴らしい大会であると記憶に残る大会を目指して準備をしまいたい。

- ・事務局より、資料1に基づき、関係省庁等連絡会議の開催について説明し、了承。
- ・公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会より資料2に基づき、2020年東京大会について説明。
- ・事務局より、資料3に基づき、2020年東京大会に向けた政府の取組状況について説明。
- ・事務局より、資料4と5に基づき、今後の進め方について説明。
- ・各構成員から今後の取組について発言。

#### **【内閣府大臣官房審議官（科学技術・イノベーション担当）】**

暑さをキーワードとして、ゲリラ豪雨の予測や体温の調節が困難な頸椎損傷者等の運動支援、ビックデータを活用した熱中症の予防の情報提供、花を通して日本らしい涼の提供などへの貢献等を検討したい。

#### **【消防庁審議官】**

熱中症の予防及び応急救護、救急搬送、さらには多数の熱中症傷病者が発生した場合の応急対応について、消防庁としての役割を果たしていくものと認識している。また、熱中症に限らず多数傷病者発生時の応急対応については多数の関係機関により検討する場が必要である。予防対策については、大会関係者による競技場内及び周辺での熱中症の予防対策をハード・ソフトの面から徹底していただきたい。消防庁としては外国人の救急対応等を検討している。

#### **【文部科学省大臣官房審議官（研究開発局担当）】**

文部科学省では、東京都のヒートアイランド現象や都市型集中豪雨に関して科学的研究を進めている。環境省と連携しながら、東京オリンピック・パラリンピックを契機とする環境都市東京の実現に向けて暑さ指数の効果的な示し方の検討の基礎データを得るための熱環境解析の実施を予定している。

#### **【文部科学省スポーツ・青少年局スポーツ・青少年総括官】**

新国立競技場の暑さ対策として、観客席の上に幕を張る、屋根とスタンドの間に隙間を作る、座席空調の設置、壁面緑化等について日本スポーツ振興センターと連携をして引き続き検討を行う。

#### **【厚生労働省健康局がん対策・健康増進課長】**

厚生労働省はこれまでも熱中症対策として普及啓発等を通じた予防や患者が出た時の医療体制の整備を行ってきた。引き続き啓発活動の推進や、病院における外国人受入を含めた医療体制の整備について取り組んでまいりたい。多言語対策について、翻訳の言語数や精度の観点から内閣官房2020年オリンピック・パラリンピック東京大会推進室にて一元的に翻訳をお願いできないか。

#### 【経済産業省商務情報政策局情報政策課長】

暑さ対策に資する技術開発・調査研究や技術の検証・普及については関係省庁と連携してしっかりとやっていきたい。省エネによる人工排熱の低減が都心部のヒートアイランド対策にもつながり、暑さ対策にも貢献できる。また、遮熱塗料等の普及啓発や標準化、評価基準の策定を進めてまいりたい。

#### 【国土交通省大臣官房審議官（道路局担当）】

道路分野においても、アスリートや観客への暑熱対策を始め、より快適な環境の提供に資する取組を推進してまいりたい。道路局は、本年4月17日に世界各国から訪れるアスリートにより快適に競技してもらうこと、観客が快適に観戦しより楽しむことができる環境を提供すること、我が国の技術や取組を世界に発信していくことを目的とした、有識者による「アスリート・観客にやさしい道の検討会」を設置したところ。具体的には、路面温度上昇抑制機能を有する舗装技術などの検討をしているところ。夏に効果検証を行う予定。

#### 【気象庁総務部長】

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、外国語での情報提供を始め、関係者とも緊密連携して十分に対応できるよう頑張っていきたい。気象衛星ひまわり8号などの最新技術を用いて、予測精度の向上に努めてまいりたい。熱中症対策に係る情報については、関係省庁と連携して、より求められる気象情報を提供していきたい。

#### 【環境省大臣水・大気環境局総務課長】

水・大気局では暑さに関し、全国の暑さ指数 WBGT の予測値などの熱中症に関する情報発信を行っている。また、人が熱いと感じる度合いを緩和するための対策として、余剰地下水を用いて涼しく感じさせる取組の効果検証及び情報発信を行う。

#### 【環境省総合環境政策局環境保健部企画課長】

暑熱環境の下での熱中症被害を最小限に抑える施策を講じていく必要がある。熱中症対策の基礎的な知見が不足していることから熱中症のリスクを把握するための手法の開発検証を行ったうえで、暫定指針を取りまとめたい。外国人向けの普及啓発ツールも開発していく予定であり、効果的な実施のため関係省庁の協力をお願いしたい。

#### 【東京都環境局都市エネルギー推進担当部長】

これまで東京都は遮熱性保水性舗装や屋上緑化など区市町村や事業者等と連携しながら取組を進めてきた。暑さ対策の取組が大会終了後のレガシーとして、東京が快適で魅力ある街、持続可能な都市として発展していくためにも定着が求められているところ。関係者と課題を共有して対策の検討を進めてまいりたい。

#### 【東京都オリンピック・パラリンピック準備局施設輸送担当部長】

東京都は2020年大会に向け、新設される競技会場について、現在IOC、国際競技連盟等と整備に向けた調整を進めるとともに、大会後の利用の在り方についても検討を進めている。

暑さ対策については、アスリートや観客が快適に過ごせるよう、大会後の利用の姿や本連絡会議等の議論も踏まえ、組織委員会と連携しながら、検討を進めてまいりたい。

**【組織委員会国際渉外・スポーツ局長】**

選手が最高のパフォーマンスを発揮できるよう、また、暑い国の暑さ対策の情報を共有しながら、現場に即した対策を行いたい。

**【組織委員会大会準備運営局大会計画部長】**

熱中症予防に向けた課題や熱中症の救急体制などについて、関係省庁の助言等を得ながら大会に向けて準備をしてまいりたい。

**【組織委員会会場整備局長】**

競技場の内部、閉鎖された空間での暑さ対策は比較的確立された技術があるが、外部空間での競技の熱中症対策については対応を検討しているところであり、当該連絡会議での助言に期待をしている。

**【組織委員会施設整備調整局長】**

屋内の競技であっても、屋外で暑い中入場のため待たなければならない場合もあるため、その対策についてもみなで考えていきたい。

・閉会

**【平田室長】**

当該会議を開催することで、改めて課題について再認識をしたところ。各省庁等総力を挙げて早期に体制を整える必要を感じた。